

消火器の取り扱い

万が一に備え、ご自宅に消火器を設置し使い方を覚えましょう。

- 1 運搬するときはレバー下部を保持する。
- 2 安全ピンを上へ抜く。
- 3 ホースをはずして火元に向ける。
- 4 レバーを強く握って噴射する。

(注意点)

- ・火災を発見したら大声で周囲の人に知らせる。
- ・初期消火の限界は炎が天井に着火するまで。
- ・早めに119番通報をする。

*住宅等での火災発生時に、初期消火を実施すると大幅に被害が軽減されます。



各家庭に消火器を
設置しましょう。



※義務ではありません

119番で消防車・救急車を呼ぶとき

電話が通じたら、消防職員の質問にあわてないで次の要領ではっきり答えてください。

- ・火事と救急の区別 「火事です」「救急です」
- ・住所 「川崎市〇区〇町〇丁目〇番〇号」
- ・目標 「〇〇小学校の南側です」
- ・内容を具体的に (何がどうした)
- ・氏名 「川崎一郎です」
- ・かけている電話の番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

*サイレンが聞こえたら、案内人を出して誘導するようにしてください



[火事]

- ・何がどんな状態で燃えているのかを話してください。
 - ・けがをしている人、逃げ遅れた人がいるのかを話してください。
- *関係者の方は、消防隊に関係者であることを伝えてください。



[救急]

- ・どうしてけがをしたのか。
- ・どんな状態で発病したのかを話してください。
- ・それから今どんな状態なのか、見たままの状態を簡潔に話してください。



*行なった応急手当の内容、持病があればその病名及びかかっている病院と主治医名などを伝えてください。